

整理番号	28002
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月19日
事業担当課	幼児課

《基本情報》

事務事業名	民間保育所等ICT化推進事業費補助金		<input checked="" type="checkbox"/> 新規
			<input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	F4 子どもをみんなで育てる子育てしやすいまちづくりを進めます		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	子育て家庭が	まち全体に支えられ、安心して子育てができている。	
個別施策	F4-4 子どもを育てやすい環境の充実を図ります		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	子育て家庭が	充実した保育サービスを受けている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	民間保育所等において、保育計画や児童記録の作成、また、保護者との連絡等に係る事務が増加しており、保育士等の事務の負担が大きくなっている。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	民間保育所等における保育士等の事務の負担軽減を図り、保育士等が働きやすい環境を整備することで、子どもと向き合う時間が増え、保育の質の向上につながるとともに、保護者の利便性向上を図る。
課題(どういことをする必要があるので)	民間保育所等における保育に関する計画・記録や保護者との連絡、子どもの登降園管理等の事務のICT化を行うことで、保育士等の保育事務の負担軽減を図る。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)</p>	<p>令和2年度において、国の補助金を活用し、国が指定する3つの機能を有するシステムの新規導入に係る費用を民間保育所等29施設に対し助成したが、依然として、システム未導入の施設があることや、民間保育所等が独自で国が指定する機能の一部等について、先行導入したことで、令和2年度の補助の対象とならず、国が指定する機能が未整備等になっている施設があることから、未導入施設の事務のICT化を推進するとともに、先行導入していた施設についても、令和2年度に国の補助金を活用してシステムを導入した施設と同等のICT化を行うため、システム導入に要する費用の一部を助成するもの。</p> <p>1 国庫補助対象分(令和2年度と同様) 国が指定する3つの機能を有するシステムの導入に要した初期費用の一部を助成する。 なお、これらの機能に加え、保育士等の事務負担の軽減に資する他の機能を付与することができる。</p> <p>2 市単独補助対象分(新規) 独自でシステムを先行導入した施設については、不足する機能の追加導入や旧システムからの切換えに必要な費用及び関連機器購入費用を助成する。</p> <p>【補助対象施設】 保育所、認定こども園、小規模保育事業を行う施設 【総事業費】19,500千円 【事業費内訳】(1) 国庫補助対象分 7,500千円(補助率 国1/2、市1/4、事業者1/4) 1施設当たり750千円×10施設 (2) 市単独分 12,000千円(補助率 市3/4、事業者1/4) 1施設当たり750千円×16施設</p>						
<p>業務量の増減</p>	<p>85時間の増 申請受付13h、補助金交付決定19.5h、補助金確定19.5h 国との補助協議・補助申請10h、支出事務13h、予算決算10h</p>						
<p>市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働</p> <p>保育所等と保育士の保育事務の負担軽減について、情報交換や様々な問題点の解決のため協議を行っていく。</p>						
<p>事業期間</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)</p>						
<p>予算額</p>	<p>金額(千円)</p>	<p>国</p>	<p>県</p>	<p>地方債</p>	<p>その他</p>	<p>一般財源</p>	
	<p>当年度</p>	<p>19,500</p>	<p>5,000</p>		<p>14,500</p>		
	<p>総額</p>						
	<p>財源名称</p>	<p>保育対策等総合支援事業費補助金、こども基金</p>					
<p>成果(活動)指標</p>	<p>指標(単位)</p>	<p>保育事務のICT化により保育士等の業務に係る負担が軽減された施設の割合(%)</p>					
	<p>年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>	<p>令和6年度</p>	<p>令和7年度</p>	<p>令和8年度</p>	
	<p>目標値</p>	<p>77</p>					
	<p>成果指標及び目標値の説明</p>	<p>本事業を実施することにより、保育士等の保育事務の負担軽減が期待されるため、保育事務のICT化により保育士等の業務に係る負担が軽減された施設の割合を成果指標とし、ICT化を行った全施設で保育士等の業務負担軽減が軽減されることを目標値とした。</p>					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由

<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善	<input type="checkbox"/> 事業規模拡大	<input type="checkbox"/> 事業規模縮小
	<input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			

(2) 評価会議における指摘事項

国が指定する3つの機能(①保育に関する計画・記録に関する機能②園児の登園及び降園の管理に関する機能③保護者との連絡に関する機能)を有するシステムの導入に係る費用を助成するものである。

未導入施設については、導入に係る経費の一部を、独自でシステムを先行導入した施設については、不足する機能の追加導入や旧システムからの切り替えに必要な費用等を助成する。

システム導入に係る経費を助成することで、保育所の事務のICT化が図られ、保育事務の負担の軽減につながることから、事業の実施は適当である。